

令和2年度 9月補正の概要

I 一般会計補正予算（第9号）

1 補正予算編成の考え方

新型コロナウイルス感染症対策として、更なる感染拡大に備えるため、医療機関への行政検査委託や、移動式PCR検査用車両の導入等により検査体制を拡充する。また、出産を控え不安を抱える妊婦に対する分娩前のPCR検査の実施や、感染が確認された妊産婦に対する支援及び産後ケアを実施する施設に対する衛生用品の配布等を行う。さらに、不特定多数の市民が利用する公共施設の感染症対策として、トイレの洋式化、自動照明化及び手洗いの自動水洗化の実施や、避難所における更なる感染症対策として、パーティションや換気用の大型送風機等を購入する。

新型コロナウイルス感染症対策以外の補正予算では、モーターボート競走事業会計における未処分利益剰余金の処分に伴う収益事業収入の増額分を公共施設整備保全基金に積み立てるなど、令和2年度一般会計補正予算（第9号）を編成する。

9月補正予算（新型コロナウイルス感染症対策関連）のポイント

○ 医療提供体制・感染拡大防止対策の充実

- ・検査体制の拡充（1日当たり検査数44検体⇒100検体へ強化）
医療機関への行政検査委託、移動式PCR検査用車両の導入、相談窓口等の体制強化、検査試薬等の購入、帰国者・接触者外来の通年開設
- ・新型コロナウイルス感染症対策みんなで応援寄附金を活用し医療機関等へ医療用資材の配布
- ・乳幼児健康診査体制の整備
- ・妊婦への分娩前PCR検査及び感染が判明した妊産婦へのケア支援、産後ケア事業を実施する委託先施設に対し、衛生用品の配布等
- ・公共施設のトイレの洋式化、自動照明化、手洗いの自動水洗化、学校のトイレのドライ化等、避難所における感染症対策、尼崎市総合文化センターへの感染症対策経費補助

○ 市民生活への支援の強化

視覚障害者への情報支援の一環として、点字プリンター等を購入

○ 「新しい生活様式」に沿った行政サービスの推進

複数分野に跨る行政情報の一元的な管理及び有事の際に活用する情報システムの構築、公開型地理情報システムの導入

2 補正予算の内容

○ 新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算	補正予算額	485,853 千円
(1) 医療提供体制・感染拡大防止対策の充実	補正予算額	431,168 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症対策事業費、衛生研究所事業費 検査体制の拡充（1日当たり検査数 44 検体⇒100 検体）等を行う。 内容：医療機関への行政検査委託、移動式PCR検査用車両の導入、相談窓口等の体制強化、検査試薬等の購入、帰国者・接触者外来の通年開設、新型コロナウイルス感染症対策みんなで応援寄附金を活用し医療機関等へ医療用資材を配布 ・ 乳幼児健康診査事業費 更なる感染拡大に備え、乳幼児健康診査体制を整備する。 内容：乳児（3～4・9～10 か月児）のうち希望者を対象に小児科専門医へ健診を委託 幼児（1歳6か月・3歳児）の歯科健診を医療機関へ委託 ・ 産後ケア（訪問型）事業費 産後ケア事業を実施する委託先施設に対し、衛生用品の配布等を行う。 ・ 妊産婦総合対策事業費 妊婦への分娩前PCR検査及び感染が判明した妊産婦へのケア支援を行う。 ・ 公共施設感染症拡大防止対策事業費（全11事業・19施設） 不特定多数の市民が利用する公共施設のトイレの感染症対策にかかる整備を行う。 内容：トイレの洋式化、自動照明化、手洗いの自動水洗化へ対応 施設：生涯学習プラザ（小田北・武庫東・園田西）、園田東会館、あまらぶアートラボ、すこやかプラザ、総合老人福祉センター、ワークセンター和楽園、青少年体育道場、弥生ヶ丘斎場、記念公園（総合体育館）、魚つり公園（魚釣施設）、中央図書館、田能資料館、地区体育館（小田・立花・園田） ・ 各種施設整備事業費（竹谷小学校） 感染症対策や学校生活環境改善のため、トイレのドライ化等の整備を行う。 ・ 尼崎市文化振興財団補助金 総合文化センターにおける感染症対策等に必要な経費を補助する。 ・ 新型コロナウイルス感染症対策事業費 避難所での更なる感染症対策として、パーティションや換気用送風機等を購入する。 		
(2) 市民生活への支援の強化	補正予算額	3,800 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 差別解消・コミュニケーション支援等検討事業費 視覚障害者への情報支援の一環として、点字プリンター等を購入する。 		
(3) 「新しい生活様式」に沿った行政サービスの推進	補正予算額	50,885 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政情報化推進事業費 様々な事務改善に広く活用するためのプラットフォームを導入し、複数分野に跨る行政情報の一元的な管理及び有事の際に活用する情報システムを構築する。 ・ 公共土木施設情報整備事業費、下水道事業会計補助金 複数の地図情報（都市計画図・道路認定路線図・下水道台帳平面図等）を市ホームページで一度に閲覧可能となる公開型地理情報システムを導入する。 		

○ その他の補正予算	補正予算額	857,447千円
(1) 財政調整基金積立金	補正予算額	166,000千円
令和元年度決算剰余金の2分の1相当額の積立を行う。		
(2) 公共施設整備保全基金積立金	補正予算額	670,000千円
モーターボート競走事業会計からの収益事業収入の増額分の積立を行う。		
(3) 戸籍住民基本台帳事務等関係事業費	補正予算額	14,610千円
国外転出者がマイナンバーカード・公的個人認証を利用可能とするための必要なシステム改修を実施する。		
(4) 日常生活支援住居施設委託事務費	補正予算額	4,696千円
単独での居住が困難な生活保護受給者への支援のため、日常生活支援住居施設の運営を委託する。		
(5) 地域集団活動支援調査事業費	補正予算額	2,141千円
国の委託を受け、幼児教育・保育の無償化の対象外である無認可の幼児教育施設について支援を検討するため、利用する園児の保護者に対し調査を行う。		

3 補正予算の規模

(単位：千円)

現在予算額	補正予算額	補正後予算額
262,838,343	1,343,300	264,181,643

4 歳入歳出補正予算額

(単位：千円)

歳 入		歳 出	
款	補正予算額	款	補正予算額
国庫支出金	127,620	総務費	954,164
繰入金	347,141	民生費	32,301
繰越金	198,539	衛生費	205,504
諸収入	670,000	土木費	61,637
		教育費	89,694
合 計	1,343,300	合 計	1,343,300

5 繰越明許費

追 加

(単位：千円)

款	項	事業名	金額
土木費	土木管理費	公共土木施設情報整備事業	21,031
土木費	土木管理費	下水道事業会計補助金	1,206

6 費目別事業概要

総務費	954,164 千円
行政情報化推進事業費	28,648 千円
様々な事務改善に広く活用するためのプラットフォームを導入し、複数分野に跨る行政情報の一元的な管理及び有事の際に活用する情報システムを構築する。	
財政調整基金積立金	166,000 千円
令和元年度決算剰余金の2分の1相当額の積立を行う。	
公共施設整備保全基金積立金	670,000 千円
モーターボート競走事業会計における未処分利益剰余金の処分に伴う収益事業収入の増額分の積立を行う。	
集会施設関係事業費	2,211 千円
園田東会館におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
生涯学習プラザ整備事業費	17,612 千円
生涯学習プラザ（小田北・武庫東・園田西）におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
尼崎市文化振興財団補助金	2,495 千円
総合文化センターにおける感染症対策及びWEB環境での情報発信に必要な経費を補助する。	
あまらぶアートラボ管理運営事業費	3,900 千円
あまらぶアートラボにおけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
新型コロナウイルス感染症対策事業費	48,688 千円
避難所における更なる感染症対策のため、パーテーション及び換気用の大型送風機等を購入する。	
戸籍住民基本台帳事務等関係事業費	14,610 千円
国外転出者がマイナンバーカード・公的個人認証を利用可能とするための必要なシステム改修を実施する。	

民生費	32,301 千円
<p>すこやかプラザ指定管理関係経費 1,005 千円</p> <p>すこやかプラザにおけるトイレの感染症対策のための整備を行う。</p>	
<p>差別解消・コミュニケーション支援等検討事業費 3,800 千円</p> <p>感染症の流行や災害時等における視覚障害者への情報支援の一環として、点字プリンター等を購入する。</p>	
<p>施設整備事業費 12,300 千円</p> <p>総合老人福祉センター及びワークセンター和楽園におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。</p>	
<p>日常生活支援住居施設委託事務費 4,696 千円</p> <p>単独での居住が困難な生活保護受給者への支援のため、日常生活支援住居施設の運営を委託する。</p>	
<p>青少年体育道場指定管理関係経費 10,500 千円</p> <p>青少年体育道場におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。</p>	
衛生費	205,504 千円
<p>感染症対策事業費 95,947 千円</p> <p>更なる感染拡大に備え、医療機関への行政検査委託や移動式PCR検査用車両の導入等により検査体制を拡充する。</p>	
<p>乳幼児健康診査事業費 19,887 千円</p> <p>更なる感染拡大に備え、乳幼児健診を適切な時期に実施するため、医療機関と連携して診察の一部を委託し、健診を継続していく体制を整備する。</p>	
<p>産後ケア（訪問型）事業費 3,500 千円</p> <p>産後ケア事業を実施する施設に対し衛生用品の配布等を行う。</p>	

妊産婦総合対策事業費	69,045 千円
妊婦の不安解消を図るため、希望者に対して分娩前のPCR検査を実施する。また、感染が判明した妊産婦に対して、訪問等により寄り添ったケア支援を行う。	
斎場整備事業費	503 千円
弥生ヶ丘斎場におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
衛生研究所事業費	16,622 千円
更なる感染拡大に備え、衛生研究所における検査試薬等を購入する。	
土木費	61,637 千円
公共土木施設情報整備事業費	21,031 千円
複数の地図情報（都市計画図・道路認定路線図・下水道台帳平面図等）を市ホームページで一度に閲覧可能となる公開型地理情報システムを導入する。	
下水道事業会計補助金	1,206 千円
公開型地理情報システムの導入経費のうち下水道事業会計負担分を補助する。	
有料公園施設整備事業費	39,400 千円
記念公園（総合体育館）及び魚釣り公園（魚釣施設）におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
教育費	89,694 千円
地域集団活動支援調査事業費	2,141 千円
国の委託を受け、幼児教育・保育の無償化の対象外である無認可の幼児教育施設について支援を検討するため、利用する園児の保護者に対し調査を行う。	
各種施設整備事業費（小学校）	57,941 千円
感染症対策や学校生活環境の改善のため、トイレのドライ化等の整備を行う。	

施設整備事業費	15,900 千円
中央図書館におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
施設整備事業費	2,513 千円
田能資料館におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	
地区体育館等整備事業費	11,199 千円
地区体育館（小田・立花・園田）におけるトイレの感染症対策のための整備を行う。	